

[平成 30 年度入学試験問題：後期]

(後)

小論文

(120 分)

人間文化学部

地域文化学科

人間関係学科

国際コミュニケーション学科

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子および解答冊子の中を見てはいけません。
2. 問題は 3 学科共通です。
3. 問題は 2 題で、1 ページから 8 ページまであります。解答開始の合図後、落丁、乱丁などがないか確認しなさい。
4. 解答開始後、解答冊子の表紙所定欄に受験番号、氏名をはっきり記入しなさい。
5. 解答はすべて解答冊子の指定された箇所に記入しなさい。解答に關係のないことを書いた答案は無効にすることがあります。
6. 解答冊子はどのページも切り離してはいけません。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。解答冊子を持ち帰ってはいけません。

問題 1 次の文章を読んで、後の問い合わせ(問 1, 2)に答えよ。

③

(ジョエル・ベスト著、林大訳『あやしい統計フィールドガイド』、白揚社、2011年を一部改変)

(注) アドボケート…何らかの社会問題への対処を提唱する人々。メディア、活動家、政治家など。

問 1 本文の③空白部分には、表1のデータの「グラスには半分まで水が入って^②いる」的な読み方が入る。これを本文での前後がつながるように100字内で述べよ。ただし、句読点も字数に入れ、1マスに1字使うこと。

問 2 本文とは異なるデータ(具体例)を示したうえで、それを「グラスには半分まで^①しか水が入っていない」的な読み方と「グラスには半分まで水が入っている」的な^②読み方の双方から解釈し、その内容を説明せよ。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。

なお、何%といった厳密な数値を示す必要はない。また、架空のデータ(具体例)を自分で設定してもよい。

問題 2 次の文章を読んで、後の問い合わせ(問 1, 2)に答えよ。

(長谷川一・村田麻里子編著『大学生のためのメディアリテラシー・トレーニング』、三省堂、2015年を
一部改変)

問 1 下線部について、「メディアに見るジェンダーの権力作用」とはどのような意味か、本文の内容に沿って100字以内で説明せよ。ただし、句読点も字数に入れ、1マスに1字使うこと。

なお、ジェンダーとは、社会的・文化的につくられた性差のこと、たとえば骨格や性器の違いや、遺伝子の違いといった生物学的な差ではなく、社会生活を送るなかでつくられ、固定化されていく性規範や性役割をさす。

問 2 あなたが記憶している広告の具体例をあげたうえで、本文で述べられているメディアリテラシーの観点を踏まえて、その広告から何が読み解けるかを述べよ。字数制限は設けないが、解答用紙の枠内に収めること。

広告の種類(媒体)は問わない。広告の詳しい内容についての記憶は曖昧でも構わないが、読み解きに関連する要素については読み手に的確に伝わるよう説明すること。